

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 30 年 4 月 / 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 ^{ミナミ} 南方安全・安心 ネットワーク
所在地 [Redacted]
連絡先 [Redacted]
フリガナ 代表者役職・氏名 [Redacted]

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他</p>
<p>事業名</p>	<p>南方地区「ふれあい地域づくり」</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>中央小学校</p>
<p>① 事業実施内容</p>	<p>※実施事業の概要(200字程度)をご記入ください。 ※事業実績を示す写真(事業内容ごとに2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。 アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。</p> <p>西川クリーン作戦・・・地区住民・地区学校関係が参加し、中心部を流れる西川の清掃を通して環境の重要性を認識するとともに、地域住民と学校関係者との連携を高める。</p> <p>防火防災訓練・・・ 災害弱者の高齢者、年少者に地区消防署、消防団の職員が災害時の注意点避難方法等を説明し、起震車等体験により、災害時の心構えを認識してもらおう。</p> <p>世代間交流餅つき大会・・・地区住民、地区学校関係が共同で作業を実施することで、災害時の炊き出し、救護等の連携が取れ、また、地域住民に地区活動の関心を持たせる。</p>
<p>② 解決を目指した課題</p>	<p>近年南方地区は従来から住んでいる住民の減少、新規に建設されたマンション等に入居した住民の増加等で地域住民同士の関係が希薄になっており、地域活動の実施が困難になりつつある。また、災害時助け合いが取れなくなる恐れがあり、地区住民の地域活動への関心を高める必要性が急務である。</p>

③ 目的・目標の達成状況

① 地区活動の推進＝地区活動の推進に必要となる活動等
 ② 地区活動の推進＝地区活動の推進に必要となる活動等
 ③ 地区活動の推進＝地区活動の推進に必要となる活動等
 ④ 地区活動の推進＝地区活動の推進に必要となる活動等
 ⑤ 地区活動の推進＝地区活動の推進に必要となる活動等
 ⑥ 地区活動の推進＝地区活動の推進に必要となる活動等
 ⑦ 地区活動の推進＝地区活動の推進に必要となる活動等
 ⑧ 地区活動の推進＝地区活動の推進に必要となる活動等
 ⑨ 地区活動の推進＝地区活動の推進に必要となる活動等
 ⑩ 地区活動の推進＝地区活動の推進に必要となる活動等
 など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。

西川クリーン作戦	●目標	地区住民	100名	実績	110名	達成率	110%
	●目標	学校関係	300名	実績	350名	達成率	116%
防火防災訓練	●●目標	地区住民	50名	実績	30名	達成率	60%
	●●目標	学校関係	100名	実績	130名	達成率	130%
世代間交流餅つき大会	●●目標	地区住民	100名	実績	130名	達成率	130%
	●●目標	学校関係	100名	実績	110名	達成率	110%

効果・・・学校関係の事業への参加者が増加、それに伴い、保護者の参加も増え、地域活動への関心が増加したと思われる。また、学校関係者の災害時の地区への援助が見込まれる。

※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。

④ 企画等の工夫と情報公開

事業実施日時について、地区学校関係者と事前打ち合わせに置いて、日程の調整を行い各事業への参加者が十分に確保できるように行う。

事業の実施について、各学校の父兄等にチラシ等を配布し、事業への参加を促し多数な参加に繋がっていた。また、事業実施後に地区住民に「ふれあい便り」で実施内容を知らしめた。

⑤ 次年度計画

安全安心ネットワークでの事業実施について、審査会での疑問の意見が多く、この事業を実施する新たな組織を作ることが南方地区連合町内会のメンバーからの賛同が得られない為、この事業を安全安心ネットワーク以外で実施できない為、次年度からは区づくり事業への申請が困難、今後は安全安心ネットワークの事業へと移行するため、次年度からは区づくりとしては行わない。

⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善

※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。

事業実施に置いて、地区が学校関係者との連携が密になり、災害時に置いて、災害弱者の救援がスムーズに行える関係が構築された。
事業実施で、新しい地域住民の参加が増加し、地区の活動に関心が多く持たれた。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

安全安心ネットワークの事業との差異

右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入して下さい。

(理由:)

助言等の内容について、改善ができましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

■収支決算書

◆収入

単位:円

項目	予算額	決算額	備考
岡山市補助金	60,000	60,000	
実施団体負担金	60,000	86,017	
参加者負担金	0	0	
	0	0	
計	120,000	146,017	

◆支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容
消耗品費	40,000	60,097	餅つき衛生用品 インク用紙 他
食糧品費	5,000	9,475	スタッフ用飲料水
原材料費	40,000	31,405	もち米他 材料
印刷製本費	10,000	10,440	チラシ・ポスター作成
使用料	10,000	11,200	会場使用料
保険料	5,000	12,600	スタッフ用ボランティア保険
燃料費	10,000	10,800	プロパン代
計	120,000	146,017	